

## 単元名 文字の組み立て方(中と外)と、穂先の動き

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 「によう」の筆使いに気を付けて、字形を整えて書く。  
 (2) 字形を整えるための筆使いや組み立て方について、自分の考えをもつ。  
 (3) 文字の組み立て方に気を付けて書こうとする。

## 標準的な展開例

05020104\_001

【教材名】『道』（毛筆）／硬筆の学習 文字の組み立て方（中と外）／レッツ・トライ 『竹取物語』を書く（P.12～P.15）

【準備等】練習用紙、まとめ書き用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 組み立て方や筆使いに気を付けて、『道』を書く。  ★「しんによう」と中の部分の組み立て方を理解して書こう  ○毛筆で『道』を試し書きする。  ○試し書きと教科書の文字を比較し、自分の課題を確認する。</p> <p>○「しんによう」の組み立て方や筆使いに気を付けて、毛筆で『道』を練習する。</p> <p>○まとめ書きをして、自己評価する。</p> <p>2 組み立て方や筆使いに気を付けて、字形を整えて『道』を書く。  ★「しんによう」の筆使いや組み立て方に気を付けて、まとめ書きをしよう  ○前時の学習を想起し、自分の課題を確認する。</p> <p>○毛筆で『道』を試し書きする。</p> <p>○部分練習をする。</p> <p>○『道』をまとめ書きする。</p> <p>○自己評価・相互評価をする。</p> <p>3 中と外の組み立て方に気を付けて、硬筆で書く。  ★中と外の組み立て方に気を付けて、硬筆で書こう  ○教科書P.14の文字を一度ずつ硬筆で書く。</p> <p>○文字の中心や基準を意識して、硬筆で練習させる。</p> <p>○まとめ書きをし、自己評価する。</p> <p>4 文字の大きさと配列に留意して書く。  ★文字の大きさと配列に気を付けて『竹取物語』を書こう  ○硬筆で『竹取物語』を試し書きして、配列よく書くための基準を考える。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをして、自己評価・相互評価をする。</p>	<p>・教科書を見ないで書くようにさせる。  ・教科書P.13の「考えよう」を参照し、「によう」と中の部分の組み立て方はどう書くと字形が整うのかを、隣席同士で話し合って確認させる。  【評】話し合いを通して、筆使いや組み立て方についての「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>・「によう」の部分練習ができる練習用紙を活用して筆順の理解ができるようにする。  【評】教材の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。  ・教科書を基に、学習の振り返りをさせる。</p> <p>・前時のまとめ書きと教科書とを比較して、自分の課題を見いださせる。  ・中の部分と外の部分を色分けして示すことのできるワークシートを活用し、点画の変化や組み立て方をつかみやすくさせる。  ・教科書P.13を参考にし、「しんによう」の筆使いや位置関係などを確認させる。  ・中の部分が外の部分からはみ出さないように書くこと、「しんによう」の2画目から3画目は、筆を一度離してから少し重ねて書き始めることなどを押さえる。  【評】教材の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。  ・練習した作品を再度見直し、注意すべき点を十分に意識させてから書かせる。  【評】作品を通して、組み立ての意識や字形に関する「知識・技能」を評価する。  ・教科書・試し書き・まとめ書きを比較し、上達した点を見付けさせる。</p> <p>・部首と筆順を確認させる。中の部分を先に書く文字と後に書く文字とがあることを押さえる。  ・練習用紙を使用させる。  ・教科書P.14の「組み立て方と字形」を参考に隣席同士で話し合い、文字の中心を捉えさせる。  ・まとめ書き用紙に書かせる。  【評】まとめ書きを通して、中と外の組み立てに関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・平仮名は、漢字より小さめに書くこと、文字の中心と行の中心をそろえて書くこと、行頭の位置をそろえて書くことなどを押さえる。  【評】発表の様子から、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。  ・中心線の入った練習用紙も用意しておき、各自で用紙を選択できるようにする。  ・中心線のないまとめ用紙に書かせる。</p>

○書いた『竹取物語』を音読する。

- ・隣席同士で，教科書・まとめ書き・試し書きを比較することで，向上した点を見付けさせる。
- 【評】 作品を通して，文字の大きさと配列についての「知識・技能」を評価する。
- ・本教材の他にも，配列を整えて書かれたものを例示し，様々な場面で生かしていけるよう声掛けをする。

【 備 考 】